

## 【 令和4年度 事業計画 】

### 【総括】

公益財団法人宮崎県スポーツ協会は、より一層県民の利益の向上に寄与する公益法人の使命を自覚し、加盟団体等と連携して、定款に定める目的に沿って、公益目的事業を積極的に推進する。

- (1) 宮崎県競技力向上対策本部と連携して競技力向上に努める。
- (2) 加盟団体との意見交換を積極的に進め連携を強化する。
- (3) スポーツ界における不祥事防止に向けた啓発に努める。
- (4) 自主財源確保事業

賛助会員募集、オリジナルシャツ等販売事業、協賛広告募集、自動販売機設置者募集を行い、さらなる財源確保に努める。

### 1 競技力向上事業

2巡目となる、2027年国民スポーツ大会を見据えた競技力の向上を図るため、関係機関団体と連携しながら、現状分析、事業等の検証と改善、本会、組織運営の強化、指導者の育成等に取り組む。

- (1) 選手強化事業
- (2) 宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業
- (3) 加盟団体組織整備事業
- (4) 強化推進事業
  - ・競技団体との協議：12月～1月
  - ・国民体育大会強化指定証交付
  - ・競技団体、選手、指導者の視察、激励
  - ・海外派遣選手等支援事業
  - ・チームみやざきミーティング会議開催
  - ・国体リハーサル大会派遣事業
  - ・社会人アスリート雇用奨励金事業
  - ・アスリート就労支援事業
  - ・ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト修了生支援事業
  - ・ふるさと選手活動支援事業
- (5) 国体選手強化事業
  - ・大学、社会人スポーツ支援事業
  - ・トップチーム活用事業
- (6) 国体選手サポート強化事業
  - ・メンタルコーチ等活用事業
- (7) 女性アスリート強化対策事業
  - ・女性アスリート支援事業
- (8) 障がい者アスリート支援事業
- (9) チームみやざき強化アドバイザー招へい事業
- (10) ターゲットエイジ強化プロジェクト事業
- (11) 頑張れチーム宮崎広報サポート事業

## 2 国民体育大会派遣及び関連事業

国民体育大会への選手派遣、帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保、派遣等、試合環境の整備を推進する。

- (1) 国民体育大会九州ブロック大会派遣
  - ・夏季大会：5月～7月、鹿児島県・熊本県・大分県で開催
  - ・秋季大会：8月、熊本県で開催
  - ・冬季大会：12月、熊本県で開催
- (2) 国民体育大会派遣
  - ・本大会：9月～10月、栃木県・千葉県で開催
  - ・冬季大会：1月～2月、青森県（スケート、アイスホッケー）  
岩手県（スキー）で開催
- (3) コーチ派遣
- (4) ドクター、トレーナー派遣
- (5) 令和6年度本県開催となる国民体育大会九州ブロック大会運営準備

## 3 みやざき県民総合スポーツ祭事業

大会参加者を増加するための広報を強化し、競技者、観戦者の視点に立って開催時期、種目、運営方法等を見直す。

## 4 スポーツ指導者養成事業

公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ指導者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組み、地域のスポーツ指導者活用・養成の取組を支援する。

- (1) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導員養成講習会開催
- (2) スポーツ指導者研修会開催：2月4日（土）

## 5 地域スポーツ振興事業

競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の認識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進する。

- (1) 総合型地域スポーツクラブ設立、育成支援
  - ・クラブアドバイザーを配置し、指導・助言等による活動支援
  - ・登録、認証制度の運用等総合型クラブの自立的な運営促進に向けた支援
- (2) 加盟団体組織整備補助
- (3) 生涯スポーツ普及活動支援事業
- (4) 第12回宮崎チャレンジマッチ開催
  - ・開催種目 陸上競技
  - ・開催期日 7月17日（日）
- (5)（名義後援）
  - ・加盟団体等の事業、大会の後援（共催）
  - ・宮崎県市町村対抗駅伝競走大会
  - ・宮崎チャレンジマッチ（7月17日（日））

## 6 スポーツ医・科学事業

宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー（AT）養成講習会を充実させ、ATの確保、活用を推進する。

- (1) スポーツ医・科学委員会（会議）開催：年3回
- (2) ドーピング防止研修会開催：年2回
- (3) メディカルチェック実施：選手約100名を対象に実施予定
- (4) スポーツ相談
- (5) 宮崎県スポーツ協会認定AT養成講習会開催
- (6) ドクター、AT養成事業：ドクター、ATを日本スポーツ協会公認講習会に派遣
- (7) 国民体育大会の帯同ドクター、AT派遣

## 7 スポーツ顕彰事業

表彰の推薦及び表彰事務の適正化を図る。

- ・スポーツ功労賞
- ・スポーツ優秀賞
- ・スポーツ奨励賞
- ・国民体育大会表彰
- ・スポーツ少年団表彰
- ・スポーツ推進賞

## 8 スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び他のスポーツ団体との連携など、課題解決に組織全体で取り組む。

- (1) 宮崎県中央大会開催：開会式6月26日（日）
- (2) 競技別交流大会開催、同派遣
- (3) スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会開催：年2回
- (4) リーダー研修会開催、同派遣
- (5) 指導者研修会開催、同派遣
- (6) 母集団育成研修会、ブロック別研修会開催

## 9 広報及び記録収集、活用事業

本会及び加盟団体の活動と本県スポーツに対する認識向上のため、あらゆる機会を利用して、情報を発信する。

- (1) 広報
  - ・広報機関誌発行：年1回、1,750部配布
  - ・スポーツイベントHP掲載：年4回
  - ・HP運用：加盟団体との連絡手段、各スポーツ少年団の情報掲載、本会事業の写真展示等積極的に活用する。
  - ・Facebook・Twitter・Instagram等の各種SNSを活用した即時の情報発信に努める。
  - ・国民体育大会への関心を高めるために、ポスターやホームページ等を活用した啓発活動に努める。
  - ・広報機関誌「宮崎スポ協」や公式HPを利用し本県スポーツ施設の利用促進等のための情報を発信する。
- (2) 記録収集、活用
  - ・本会、加盟団体の事業、活動記録及び本県スポーツ情報を収集、管理し、県民に提供する。